

皆様方におかれましては、オホーツク・北見大会誌上交流をはじめ、研修部の活動にご理解とご協力をいただきましたこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

12月以降について報告いたします。研修部1～2ページをご覧ください。

まずは、第63回道小教育研究オホーツク・北見大会誌上交流を主とした「小学校教育 会報 教育北海道別冊 57号」を1月18日付で発行・発送いたしました。道通教育版においても大きく取り上げていただいております。執筆やいただいた校長先生をはじめ、誌上交流に参加いただいた皆さん、地区研究を支えていただいた皆さんに感謝いたします。

また、各地区からご報告いただきました「地区研究活動」につきましては、道小ホームページに掲載しております。

「教育改革等に関する調査」についてですが、3月に入りましたら調査結果が「研究紀要」の冊子となってお手元に届くことになっております。今回は、コロナ禍での教育課程の工夫などといった問題も組み込まれており、文科省も、これらデータを注視しているということです。各学校でもご活用をいただければと思います。その他の活動につきましては、お手元の資料でご確認ください。

次に、3ページ、令和3年度の活動計画について、主だったものについて述べさせていただきます。

研修部の活動の中核となるのは研究大会です。本日、9月10日～11日に開催されます石狩・千歳大会の開催要項、一次案内を配付させていただきました。本大会につきましては、大会実行委員会と連携を密に図りながら、大会の成功に向け、業務を進めて参ります。以前にも申し上げておりますが、コロナの影響下という前提で開催計画を立てております。例年より参加人数を減らし、感染拡大防止に努めながらの実施計画となっておりますことをご理解ください。

各地区におかれましては、北見大会の研究集録であります「小学校教育 別冊57号」や、道小ホームページに掲載されます「分科会の趣旨と研究の視点」等をご参考にいただき、石狩・千歳大会への参加体制の整備や、研究発表の準備等に取り組んでいただきますよう、お願いいたします。なお、全体会・分科会につきましては、この後の協議の中で説明いたします。

その他、令和3年度の研修部の業務としましては、全連小の「教育改革等に関する調査」、「小学校教育 別冊58号」の発行、「地区研究活動」、全連小全国大会石川大会の発表地区のサポート等も、今年度と同様に取り組んで参ります。

以上、今年度研修部の主な活動報告と次年度の活動計画案について、簡単に説明させていただきました。